

ラグビー組

河 邊 記

杜陵ヶ丘にそびゆる石櫓城に春はやつて来た。そして我等を柔かに抱擁した。吾々は再び榮冠を勝ち得んと、血と汗と泥まみれ、練習を照る日も曇る日も唯黙々と續けた。

然し吾々は世間の風評を外に、一、練習二、練習と岩手の彼方に夕日が沈む迄汗と泥の血まみれになつた。

對岩手醫專戰 四月十八日

岩中	11	0	0
	11	0	0
	0	0	0
	0 岩醫		

前半は兩軍共に固くなり無爲なれど後半は岩中良く巨體揃ひの醫專を壓し11分角掛君のPG。19分川村君、23分河邊君とトライなり、一ゴール成功し11—0で宿敵醫專を三年ぶりで撃破する。

對岩手醫專定期戰 四月二十九日

岩中	3	0	6
	3	5	6
	11 岩醫		

本校は、野外教練直後の爲元氣なく2トライPGを許せしが後半に於てHBの川村君飛込んで一トライを返したのみで敗られ

た。特にTB武田君のキックは敵に驚異を與へる。

對盛岡高工定期戰 五月十七日

岩中	20	17	0
	3	3	0
	3 高工		

始め高工巨體を利用して猛攻し來たが、武

田、河邊のキックに返され、岩中は5分スクラムトライ、10分TBパスに由つて佐藤トライ、20分PG吉田(修)成功。22分鱒澤トライ、26分武田パントで抜き獨走トライゴール成り、前半17—0でタイムアツプ。後半は立ち上り岩中Sトライし後一進一退。ノーサイド直前高工に一トライを許す。結局20—3で本校快勝する。

對盛岡中學定期戰 六月二十日

岩中	37	16	0
	21	0	0
	0 盛中		

〔前半〕盛中先蹴に始まる。岩中すでに敵を呑む慨あり。5分早くもTBパスに由り河邊君巧なドングで美事に密集を抜き、右中間にトライ。(3—0)その後盛中も

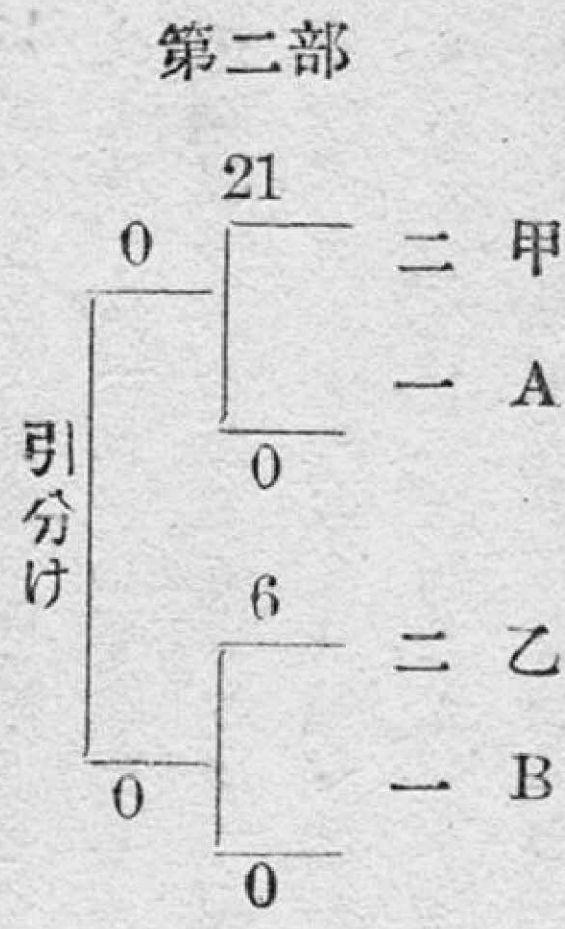
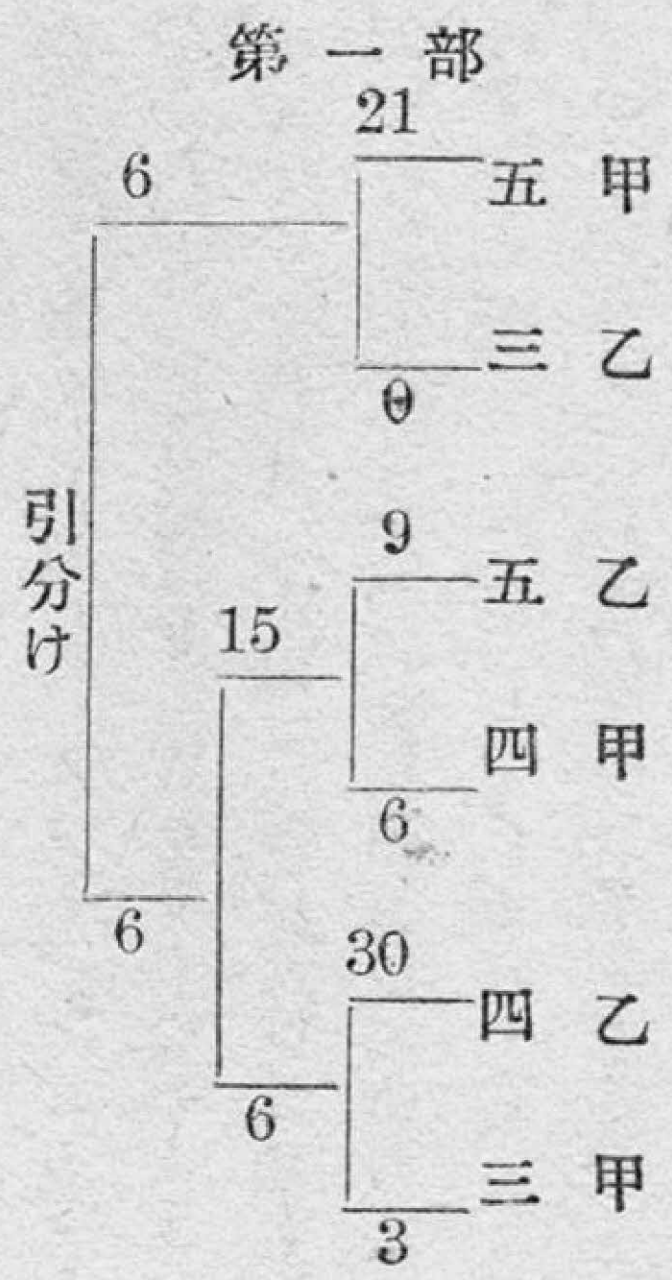
さるもの、奮然岩中陣に殺到せしがTBのキックに返さる。20分再びTBパスで鈴木河邊、佐藤と渡りトライ、ゴール成る(8—0)。24分同様のパスで佐藤猛烈に飛込んでトライ(11—0) 續いて三十分盛中陣ゴール上のタッチより日山君トライゴール成る。(16—0)

〔後半〕盛中疲勞の色濃く岩中TB獨走に混亂す。10分河邊ダッシュで盛中TBを抜きトライ(19—0)。鈴木、河邊は、虚を突く引寄せ戦法に掛り、佐藤ノーマークになり12分悠々佐藤トライ、ゴール成る(24—0) 續いて駿足武田ブラインドを突き18分トライ。(27—0) 又も20分鈴木鮮かに敵を突破トライ。ゴール成る(32—0) 25分FWの強引無双のスクラムトライ成功ゴール成り。(37—0) 盛中すつかり意氣消沈しノーサイド。

噫!!勝利の凱歌は遂に岩中に揚つた。而も開戦以來の大差をもつて、宿敵盛中を再び立つ能はざる迄叩きつけた。果然と悲嘆の涙にくれる盛中軍、勝つた岩中軍の選手

ンドにどよめく應援歌は一方は初夏の空高く勝利を奏し、一方は重々しく悲痛に來るべき日を激勵してる。噫!!勝つべきは戦!今更の如く心に痛く感ずる。

校内ラグビー大會



夏季合宿 (十一日間)

- 一、七月二十五日午後集合
- ：：八月五日正午解散
- 一、校内柔道場二階 醫專グラウンド
- 一、参加人員 生徒二十一人 先輩四人
- 部長先生 總員 二十六人

一、日課

起床—五時。練習—六時—八時。
朝食—八時半。自習—九時—十一時半。
晝食—十二時。練習—二時—五時。
夕食—六時。散歩及び、ルール研究七時—九時。就寝—九時半。

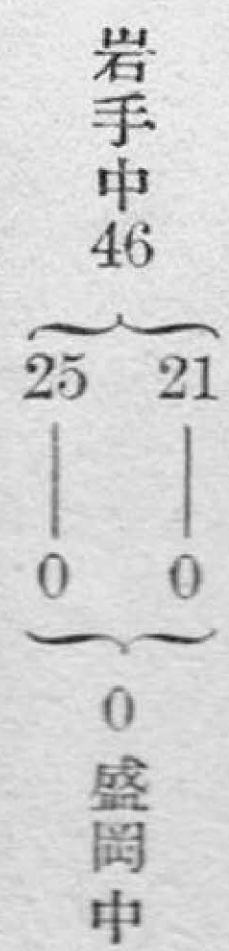
一、役員

總監 部長山中先生
コーチ、日本大學選手先輩鷹木立夫氏
會計係は河邊(五年)。炊事係は瀬川(五年)、吉田(茂)(五年)、三上(四年)。

明治神宮國民鍊成大會

岩手縣豫選 九月二十五日

決勝戦

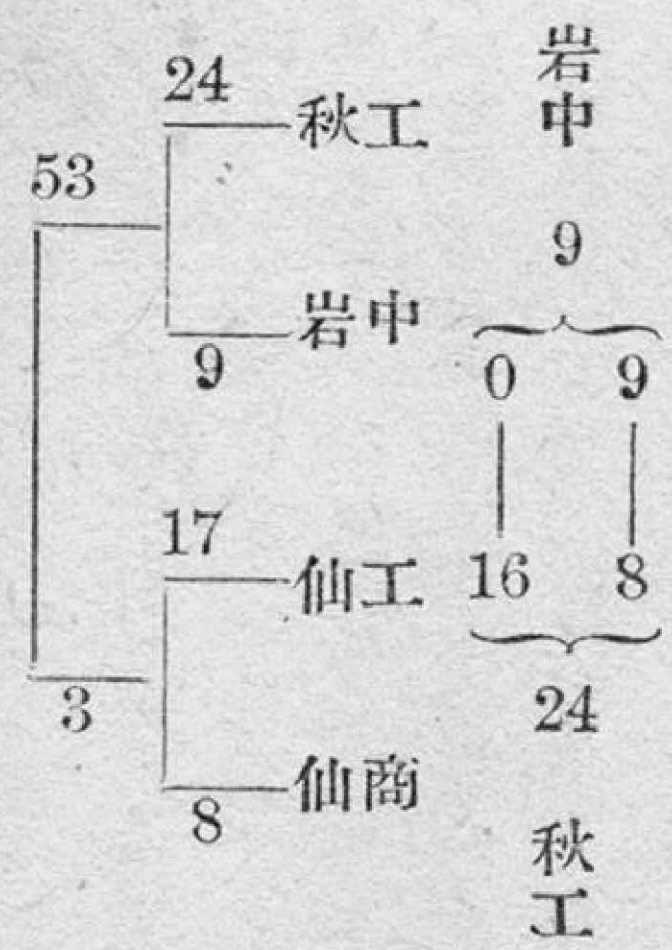


岩中對盛中成績記録表

	岩中	盛中
勝數	14	7
敗數	7	14
引分	5	5
得點	240	126

願くは後輩諸君よ此の傳統を永遠に守つてくれ。

明治神宮東北豫選



場所 仙臺評定河原帝大グラウンド

日時 昭和十七年九月二十七日九時

吾等は昨年の74—3を復讐せんと決死の覺悟で出場す。

〔前半〕立ち上り本校非常に悪く2分、4分と續けて秋工齋藤にトライさる。一ゴール成る(0—8)漸次本校調子をつくや猛然と秋工軍に突入し、12分、FWの勇猛果敢のスクラムトライ美事決り(3—8)と迫る。本校志氣益々上り、又も16分スクラムトライの球を武田押えてトライ(6—8)と肉迫し觀衆の手に汗を握らせる。その後秋工底力に物を言はせ、本校陣に殺到した、

本校巧みにタツチを攻めて返す。25分TB
パスを河邊ダミーで秋工TBの中央を突破
ゴール前で佐藤にパス、佐藤駿足を利して
快走トライ成り(9-8) 秋工軍の顔色な
からしめた。

〔後半〕本校元氣良く秋工陣で二進一退。

5分秋工ゴール前で亂戦となりトライと見
えたが、天下にその勇名のある秋工は、本
領を發揮、巧みにドロップで返さる。10分
本校ペナルテを取られ敵主將神成P・G成
る(9-16)。本校尙も屈せず敵陣深く攻撃
したが、秋工HBの堅防に無爲。24分敵齋
藤、又も奮然猛進し、トライゴール成り
(9-16)。26分敵はF・Wをもぐつてトラ
イ、ゴール成り(9-21)。29分PG(9-
24)を許した。本校最後迄頑張つたが力及
ばず敗る。

嗚呼敗れた。敗軍沈消し敗將何をや語ら
ん。枯草に一露の涙あり、朔風に慰藉の聲
あり。疲れし腦裡に閃めくは懷しき石櫻の
應援歌、旗の渦卷。

對松尾鑛山定期戰

十月十八日

本校	41		
	29	12	
	0	0	
	}		0
			松尾

來年度のメンバーを主體とし對戦す。唯
F・W五年角掛T・Bに五年河邊が入つた
だけだ。

對東北配電七人制定期戰

十月三十日

岩中	46		
	26	20	
	0	0	
	}		0
			東配

來年度のメンバーで對戦す。

對東北配電定期戰

十一月十四日

岩中	61		
	38	23	
	0	0	
	}		0
			東配

戰に次ぐに戰を以つてし、戰九度、破れ
しは二。斯くして今將に秋も暮れなんと
す。蒼空に飛ぶボール、キツクの響、走る
プレーヤーの姿。さらば我が去る後を守る
諸君よ。キツクにパスにタツクルに正しき
研鑽を積み、彌々高く永久に覇者たれ。